

平成13年

救急・火災報告

松前消防署では平成13年の救急・火災などの件数をまとめました。

救急出動	982件
火災件数	9件

●救急●

平成13年に松前消防署管内での救急出動件数は982件、搬送人員960名、出動したが搬送しなかったもの43件となっており、平均すると1日に2・7件出動し、町民32人に1人が救急車を利用したことになります。

これは昨年と比べると、出動件数で21件増、救急件数で22件増、搬送人員で9名増となり、出動件数、救急件数、搬送人員とも過去最高となりました。

次に出動件数の内訳を見ると、急病が最も多く520件(53%)、続いて交通事故197件(20%)、一般負

傷110件(11%)、自損15件(2%)、労災10件(1%)、以下は運動競技8件、加害3件、その他(転院搬送を含む)119件となっています。傷病の程度では、軽症51%、中等症32%、重症15%、死亡2%で、昨年と比べ、重症比率が3ポイント増加しています。

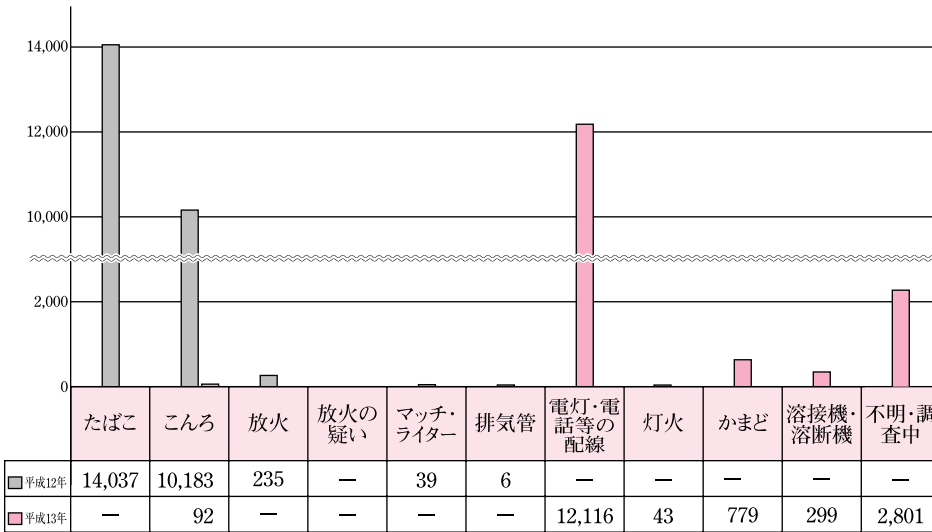
●火災●

平成13年中の火災は9件、損害額は1,613万円となりました。

原因別で見ると、配線2件、こんろ、かまど、溶接機、灯火、放火の疑いが各1件、不明・調査中が2件となっています。

建物火災で見ると、昨年3件、今年7件で増加していますが、1件当たりの焼損面積、損害額を見ると、昨年の焼損面積54㎡、今年33㎡、昨年の損害額807万円、今年220万円で、初期のうちに発見、消火が行われた実態が伺えます。

●火災原因別損害額● (単位：千円)



●原因別火災件数● (単位：件)

火災原因	平成12年	平成13年
たばこ	2	-
コンロ	1	1
放火	2	-
放火の疑い	-	1
マッチ・ライター	1	-
排気管	1	-
電灯・電話等の配線	-	2
灯火	-	1
かまど	-	1
溶接機・溶断機	-	1
不明・調査中	-	2

住宅火災

いのちを守る
7つのポイント

- 3つの習慣**
 - 寝たばこは、絶対にやめる。
 - ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する。
 - ガスコンロなどのそばを離れる時は、必ず火を消す。
- 4つの対策**
 - 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
 - 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
 - 火災を小さいうちに消すために、住宅用火災警報器を備える。
 - お年寄りや身体の不自由な方を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

●事故種別救急件数● (単位：件)

